

# 企画展 地図 にみる 練馬

観覧無料

6/20(土)~8/16(日)  
9:00~18:00

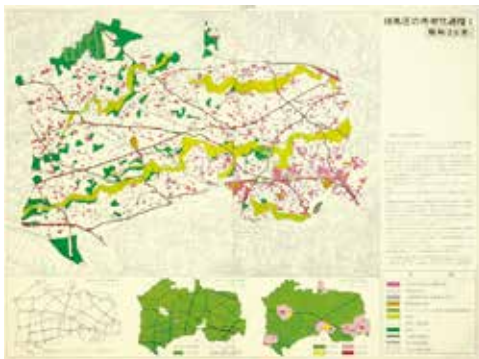
※月曜休館(ただし、7/20祝は開館。7/21火は休館)。

明治時代に西洋の測量技術が導入され、日本でも本格的に地図が作られるようになりました。本展では、地形図や沿線案内図、観光案内図など、さまざまな目的で作成された地図を通して、練馬区の移り変わりを紹介します。

## 企画展をもっと楽しむ 3つのポイント

### Point 1 地域の 移り変わりを読む！

地形図や行政区画ごとに作られた地図からは、地域の移り変わりを知ることができます。道路や町の区切りなどに注目すると、宅地化や鉄道整備により、まちの姿がどのように変わってきたのかを読み取れます。



▲昭和20年の練馬区の土地利用図(昭和49年)

### Point 2 当時のまちの 姿を想像する！

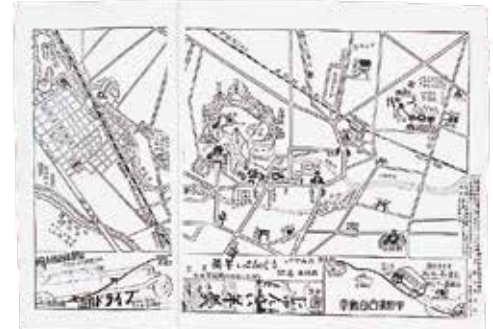
実際の位置関係や縮尺を簡略化・強調して描いた沿線案内図や鳥瞰図からは、当時の人々が見せたかたちまちの姿がイメージできます。駅やにぎわいのある場所が大きく描かれ、地域の魅力や時代の関心が反映されています。



▲東上沿線観光案内(昭和27年)

### Point 3 当時の 暮らしを知る！

テーマに沿って必要な情報を集めて作成された略図や案内図からは、その時代の人々の暮らしを知ることができます。道案内や施設の位置を示す地図は、「誰のために」「何のために」作られたのかを考えることで、当時の人々の生活を想像することができます。



▲石神井名所案内(昭和8年)



### 社会科学習用 練馬区の地図

昭和40年

当時の小学生が教材として使用したもので、地形や交通網、町名、公共施設など、多くの情報を盛り込んでいます。現在も小学3年生の社会科の授業では、地図を使った身近な地域の学習が行われています。

### 郊外遊覧 電車図絵

昭和5年

東京郊外の観光地を紹介する地図で、山手線の内側は灰色、外側は目立つように黄色で色分けされています。近郊の遊園地や公園、社寺などが目立つように描かれています。



会期中の  
催し

7/20(祝)、8/14(金) 展示解説会

日 7月20日(祝)、8月14日(金)午後2時~2時30分 申 当日会場へ

8/9(日) 講演会「地図の楽しみ」

日 8月9日(日)午後2時~3時30分 講 (一財)日本地図センター客員研究員/今尾恵介 定90名(抽選) 申 同館HPまたは往復ハガキで①催し名②代表者の住所・氏名(ふりがな)・電話番号③参加者全員(2名まで)の氏名(ふりがな)を、7月14日(火)までに 〒177-0041石神井町5-12-16 石神井公園ふるさと文化館へ

